



2016～17年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2016～2017)

会長/大杉幹夫
幹事/江口久夫
会報委員長/永木寛

創立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル 四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2469

第2600回 平成28年10月25日(晴れ)

本日のプログラム：米山奨学生卓話 (3クラブ合同例会)
11月2日(水) のプログラム：四大奉仕別家庭集会の報告
11月9日(水) のプログラム：美化ゾーン例会

米山奨学生を迎えて 四万十RC・宿毛RC・中村RC合同例会

【会長挨拶】 門田啓二 四万十RC会長

皆さんこんにちは。本日は3クラブ合同例会でございます。宿毛RC、中村RCの皆様、四万十RCの例会会場へお越しくださいませありがとうございます。

米山記念奨学会とは、日本の大学および大学院に留学されている外国人に奨学金を支給し国際理解と親善に寄与すること目的として設立されたものでございます。米山奨学生に選ばれた学生については優秀な学生ばかりでございます。多くのことを学び卒業後は米山学友として活躍されます。

本日はカウンセラーの山崎様、米山奨学生のオ・スヒョン様、ご苦勞様でございます。後ほどご講演お願いいたします。限られた時間で十分に学び研究し将来に還元できることを期待しまして私の挨拶いたします。

ありがとうございました。

【カウンセラー挨拶】 山崎啓輔様 高知西RC

皆さんこんにちは。米山奨学生のカウンセラーを担当させてもらっています。私は、日韓親善協会の会長を務めておりまして、呉琇賢さんの担当をすることとなりました。彼女がいる木浦は韓国の南西部で、全羅南道の西に位置しています。彼女は、木浦の母と言われている田内千鶴子さんのひ孫にあたります。

1928年に田内さんは家族と一緒に木浦へ行かれて共生園を開園されました。彼女は韓国の最高の勲章を受賞されましたし、彼女のお葬式には20数万人の方が参列されたそうです。現在は彼女のお孫さんに当たる呉琇賢さんのお母様が共生園を運営されています。わたくしはそのお母様とも十数回お会いしております。そういったご縁で今回私がお世話させていただくこととなりました。

田内千鶴子さんについて詳しいことについては、「愛の黙示録」という映画がございますのでご覧いただきたいと思います。

以上で彼女の紹介を終わります。



【本日のプログラム】 米山奨学生 呉 琇賢（オ・スヒョン）様 高知大学院生



私はオ・スヒョンと申します。1991年9月生まれ木浦市出身です。木浦大学で社会福祉を専攻し、現在、高知大学大学院で社会福祉について勉強しています。研究のテーマは「韓国における学生ボランティア」です。

木浦市は高知県では知られている都市のようですが、詳しい場所は知られていません。韓国の西南部、全羅南道の西です。高松からソウルまで1時間半、そこから、新幹線で2時間半かかります。皆さんに「なぜ高知大学を選んだの？」とよく質問されます。理由は2つです。1つ目は曾祖母、田内千鶴子の故郷であることです。曾祖母は高知市若松町出身です。韓国で3000人の戦争孤児を育て、木浦の母と呼ばれた人です。私も将来社会福祉士になりたいと思っています。曾祖母の故郷で勉強できたらと思い、留学することになりました。

2つ目は、高知は人と地域を大切にすることです。高知大学は2015年に、国内初の地域協働学部を設立しました。地域をよく知り、地域の問題を解決できる人材を育成しています。日本で起きたことが、10年後に韓国でも起こります。ということで、社会福祉を勉強すれば10年後の韓国でこういった学問が必要になります。それを信じて勉強しているところです。

次に家族紹介について紹介させていただきます。田内千鶴子は母の祖母です。その夫は尹致浩（ユン・チホ）で4人の子どもがいて、その4人の子どもは社会福祉の道を歩んでいきました。私の祖母は長女の田内清美です。1928年に設立した共生園、児童福祉施設は現在、全羅南道木浦市海洋大学路にあります。現在、幼稚園児から大学生の67人が住んでいます。昔は戦争孤児がたくさんいましたが、現在は離婚や家庭の事情で来ている子どもが多いです。現在、運営している園長は田内千鶴子の孫の鄭愛羅（ジョン・エラ）で私の母です。母の兄弟もみんな社会福祉関係の仕事をしており、尹鶴子共生福祉財団で活動しています。2017年、当財団は田内千鶴子の遺言でもある

「世界の子どもたちに希望を 国連世界孤児の日の制定をめざして」活動しています。

高知県と全羅南道とは深い結びつきがあります。まず高知県の支援もあり1995年に映画「愛の黙示録」が完成し、高知市で上映会を開催しました。1997年、五台山に記念碑「愛のふる里、田内千鶴子生誕地」が完成しました。1998年10月31日献花式「田内千鶴子・偲ぶ会」が開催され、以降毎年行われています。

2003年には高知県と全羅南道が観光・文化交流協定を締結。2016年10月31日に高知市と木浦市が姉妹都市協定の予定となっています。これまでに政治的、文化的なところで交流があり今回実現することができました。今年1月17日全羅南道知事が訪問し、歓迎レセプションが開催されました。また今年5月23、24日に日本高知県友好代表団が韓国全羅南道を訪問されました。また、今年の8月には日韓大使館主催で文化の交流がありました。

次に高知県での私の活動です。1つ目はSGGガイド・ボランティア活動の通訳、2つ目は家庭裁判所の青少年ボランティア活動、3つ目は日韓交流に関する活動・講演などです。

昨年10月31日、田内千鶴子・偲ぶ会に参加させていただき大変うれしく思いました。今年6月12日には若者で日韓友好を大手前高校で授業をしたり、7月23日には高知県高坂学園生涯老人大学で講演し、千鶴子おばあちゃんや韓国の文化について知ってもらうことができました。

これで講演を終わります。長時間、ご清聴していただきありがとうございました。

【謝辞】 竹葉 宿毛RC会長

米山奨学生のオ・スヒョンさん、カウンセラーの山崎さん本当にありがとうございました。高知と木浦のつながりはすごく歴史があって、この架け橋がもっと大きなものになるように、日本と韓国の素晴らしい未来のため、青少年の育成のためにもどんどん活躍していただきたいと思います。本日はありがとうございました。

【謝辞】 大杉 中村RC会長

オ・スヒョンさん、カウンセラーの山崎さん、本日はお忙しい中、幡多の3クラブ合同例会にお越しいただき本当にありがとうございました。先程は貴重なお話、田内千鶴子さんの功績の話をして頂きまして感心をしました。これからも田内さんのひ孫である「オ・スヒョン」さんの日本・韓国での活躍を期待しています。